

全国大学生マーケティング・コンペティション 準優勝報告

第13期 長妻 泰成

◆全国大学生マーケティング・コンペティションとは…？

全国大学生マーケティング・コンペティションは、神戸市外国語大学が主催するビジネスコンテストです。このコンペの特徴としては、プレゼンテーションをすべて英語で行うことが挙げられます。第5回となる今年度は、協賛企業、株式会社 KIRIN の「午後の紅茶おいしい無糖、または、メッツコーラの販売促進戦略」が課題でした。今年度は、小野ゼミ第13期から、Team Men's Onon-no（福嶋、著者、清水）と Team Power Puff Girls（平久、山本）の2チームが優勝を目指して参加しました。そして、小野ゼミ2チームとも決勝大会に進出し、Team Men's Onon-no は、準優勝を果たすことができました。



Team Men's Onon-no（左から福嶋、著者、清水）



Team Power Puff Girls（左から平久、山本）

◆発表の概要

私の参加した Team Men's Onon-no は、メッツコーラの国内売上を1年間で20%増加させられる SNS (social networking service) を用いた販売促進戦略を考えました。私たちは、30~50代の男性と、その家族をターゲットとし、「Changing Fat Dad to Mets Dad」というコンセプトで、メッツコーラを消費することで、家族が一体となって父親のダイエットに取り組むという提案を行いました。

9月から準備をし始めたこの大会は、関東予選を通過したチームが神戸で行われる決勝大会に進めるというものでした。第13期生は、三田論



準優勝を喜ぶ Team Men's Onon-no（著者は左端）

を抱えながら本コンテストに参加しました。関東予選では、提案するビジネスプランの概要を PowerPoint ファイル 10 枚にまとめ上げ、5 分間で発表しました。決勝大会では、予選を突破した 7 チームが一同に介し、売上 20%アップのためのビジネスプランの集大成を、多数の審査員と大勢の聴衆の前で発表しました。

参加した 2 チームともが決勝大会に進むことができ、決勝大会においては、会場を盛り上げるような発表をし、Team Men's Onon-no は、見事、準優勝という結果を残すことができました。

◆発表後記

「とにかく楽しかった」というのが正直な感想です。本コンペティションは、三田祭論文執筆の時期と丸かぶりでしたので、私たちは、時間の合間を縫ってビジネスプラン考案や発表資料作成を行いました。私のチームは、グループワークではプランのアイデア・女性の批評・下ネタなど多彩な話を繰り広げるデブ（清水）と、真面目ではあるがどこかやる気のないけいご（福島）、そして私というイケメン 3 人チームでしたが、英語が得意な人はゼロ。小野ゼミからのもう 1 つの参加チームである女子 2 人組は、普段から英語で会話をするような堪能者ばかりでした。男子チームは、英語で勝負するのは無理だと考え、プランの面白さと、笑いの 2 つで勝負する方針をとりました。プランが完全には出来上がっていないのに、何度も小野先生のところへ行き、アイデア、英語の表現の相談をさせていただきました。関マケの次の日に行われた関東大会を何とか突破しました。その後、ゼミの時間をいただいて、決勝大会の資料とプレゼンを先生や先輩、同期に見ていただき、沢山のアドバイスをいただいた。とうとう待ちに待った、神戸での決勝大会。壇上に上がってすぐ、本ゼミでは不評であった OIZAP のネタを全力で行いました。下記の写真にあるように、大会後に女子と触れ合える懇談会を忘れて、デブは全力でした。デブを初めてかっこいいと思いました。私たちのプレゼンは、発表チームの中で 1 番の笑いを取り、大成功に終わりました。結果は、準優勝だったものの、全力を出したので、あまり後悔はありません。

このような結果を出すことができたのは、ゼミのみなさんのサポートがあったからです。恵比寿のご自宅に行ったり、中央大学に行ったりして、何度も私たちの英語を修正してくださった小野先生、本当にありがとうございました。小野先生には優勝という結果を報告したかったのが本音です。サブゼミや本ゼミでアドバイスをくださった先輩の方々、そして迷惑をかけてしまった論文チームのみんな、本当にありがとうございました。最後に、3 ヶ月ほど一緒に優勝を目指して頑張った、デブ（清水）、けいご（福島）、本当にありがとう。2 人と一緒にチームだからこそ出せた結果だと思っているぞ。



○IZAP のネタで爆笑を取る清水くんと著者（左）